

平成 15 年 11 月 25 日

各 位

株式会社 リそなホールディングス  
(コード番号 8308)

### 三平建設株式会社の再生支援について

当社子会社の株式会社りそな銀行(社長 野村 正朗)(以下、りそな銀行という)は、取引先である三平建設株式会社(以下、三平建設という)が策定した抜本再建計画に同意致しました。尚、同社再生については、株式会社整理回収機構(以下、RCC という)の企業再生検討委員会より検討着手の決定を受けており、RCC の企業再生機能を活用することを予定しております。

これにより、りそな銀行以外の金融機関等の抜本再建計画への同意を条件とし、りそな銀行は三平建設に対し以下の金融支援を実施いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 三平建設株式会社の概要

所在地：東京都台東区元浅草 1 丁目 1 番 1 号

代表者：石原 早雄

資本金：1,592 百万円

事業内容：建設業

#### 2. 金融支援の内容

貸出金のデットエクイティスワップによる株式取得：27 億円

債権放棄額：242 億円

実施時期：平成 16 年 3 月

なお、当社子会社である埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行、奈良銀行には本件に関する債権はありません。

#### 3. 当該事実が当社の業績に及ぼす影響

上記金融支援実施に伴う損失額につきましては引当済みであり、本日発表いたしました平成 16 年 3 月期の業績予想に影響はございません。

以上

## 三平建設株式会社の再生支援について（別紙）

本日、当社子会社のりそな銀行は、取引先である三平建設が策定した抜本再建計画に同意致しましたことを報告させていただきます。

今般発表された三平建設の抜本再建計画は、平成 16 年 3 月末までに抜本的な財務リストラを実施し、財務面の不安を払拭するとともに、営業面では、得意とする中小規模マンション施工に特化し、それ以外の事業分野からは撤退するという抜本的なものです。この結果、計画最終年度の平成 19 年 3 月期には、国土交通省の「建設業の再生に向けた基本指針」（以下国土交通省基本指針という）をクリアし、再生を果たす内容となっております。りそな銀行としては、三平建設が各施策を確実に実行していくことにより、抜本再建計画は完遂されるものと判断しております。

また、計画の中で、経営責任および株主責任を果たして頂くことを前提とし、りそな銀行は 269 億円の金融支援を予定しておりますが、この金融支援額は、三平建設が計画の最終年度で上記国土交通省基本指針をクリアし、再生を果たしたゼネコンと世の中に認めてもらうためには、必要不可欠な金額と判断しております。

尚、三平建設の再生については、RCC の企業再生機能を活用することを予定しておりますが、これにより、今回の抜本再建計画および金融支援に透明性・合理性が確保され、三平建設の再生がより確実なものとなると考えております。

これまで、りそな銀行は主力銀行として資金面での支援実施等、三平建設再生に向け最大限の協力を実施してまいりました。今般、三平建設は、再生に向け再出発することとなりますが、りそな銀行は今後とも引き続き、主力銀行としての役割を果たしていきたく考えております。

以 上